



おがわ地区 コミュニティだより

発行元 おがわ地区コミュニティ広報部会
連絡先 TEL 0299-58-4589

ちょこっといいこと
してみませんか？

ちょこ

っと

ボランティア



令和7年9月（第8号）の
コミュニティだよりにおいて、

「できるひとが できるときに できることを」

のタイトルで、学習支援ボランティアを特集しました。覚えていますか？
でも、小川南小や小川南中で授業に参加して、子どもたちの学習のお
手伝いをするなんて、ちょっと自分にはできない…と。

そう思われたあなた！！ …それが普通です。

だけど、あなたの身の回りには、だれかの役に立つ「ちょこっといい
こと」があるんです。

例えば…散歩がてらに子どもたちの登下校の見守り、学校の環境整備、
地区の花壇の除草等々。



収集ボランティア

気軽に始められるボランティアとして、
収集ボランティアがあります。
皆さんからの善意の寄付品が、支援を必要とする施設や団体に届けられます。



小美玉市社会福祉協議会
大山明弘事務局長



カスミストアでは、
家庭からのペットボトルや
牛乳パック等の
リサイクル回収ボックスが。



社会福祉協議会や
市役所の玄関にも寄付品の箱が！

特に協力をお願いしたいものが、
賞味期限が長い食料品です。他に
アルミ缶や古紙です。古紙は、
新聞・雑誌・段ボールなどで、
ある程度、まとまった量があれば
回収に行くことも可能です。



防災ボランティア

地域の子どもたちや学生に、
ゲーム形式やぬりえを使って
自分や家族、地域の命を守る判断力
を学んでほしいと防災ワークショップ
を開き支援しています。



防災士 幡谷貞賢さん



見守り・除草など ボランティア

あなたにできる、家族でできる

「ちょこっといいこと」をさがしてみませんか？

今年もイベント開催しま～す♪

お知らせ

「おがわフェスタ」令和8年11月8日（日）

場所：小川南小学校 時間：9時～14時

遊びに来てね♪

令和8年度 役員紹介

一年間よろしくお願いいたします。

役職	所属	氏名
会長	橋向区	小島 健一
副会長	本田町区	藤田 恵弘
副会長	下馬場区	清水 章夫
副会長	坂下区	藤井 雄一
幹事	本田町区	種橋 裕之
幹事	仲田宿区	鈴木 教
幹事	大町区	塚本 正紀
幹事	川岸区	加藤 祐司
幹事	横町区	永作 明義
幹事	坂上区	久保田 達夫
幹事	坂下区	赤羽 英夫
幹事	下馬場区	村山 和浩
幹事	小埜区	小沼 栄一
幹事	中根区	寺内 幹男
幹事	下田(一)区	沼田 照乙
幹事	下田(二)区	斉藤 隆

役職	所属	氏名
幹事	宮田区	幡谷 弘
幹事	幡谷区	幡谷 文雄
幹事	川戸区	内田 候司
幹事	大町区	香取 憲一
幹事	小埜区	山口 恵男
幹事	小川南小学校長	佐藤 雅記
会計	立延区	飯田 孝
会計	二本松区	長谷川 尚美
監事	坂下区	上田 裕司
監事	小川南中学校長	荘司 宏征
事務局長	本田町区	山岡 健一
事業部会部会長	立延区	関口 茂
事業部会副部会長	川岸区	渡辺 俊一
広報部会部会長	橋向区	藤井 里美
広報部会副部会長	宮田区	幡谷 泰子

キラッと
スポット!!

スクールショップ 本店



小美玉市小川地区で、地域の皆さまに支えられながら、学生服・体操服を取り扱ってまいりました。

お子さまの入学・進級にあわせた制服・体操服のご用意はもちろん、裾上げやお名前入れ、成長に合わせたサイズ直し、傷んだ部分の修復まで、一点一点ていねいにお手伝いいたします。

「サイズが合うか不安」「ここだけ直したい」「下のお子さまにも使えるようにしたい」—そんな小さなご相談も、どうぞお気軽にお声がけください。長く安心してお使いいただけるよう、心を込めて対応いたします。

地域の皆さまの身近なお店として、これからもお子さまの学校生活をそばで支えてまいります。



◆美野里支店

令和8年8月1日

新規オープンしました。

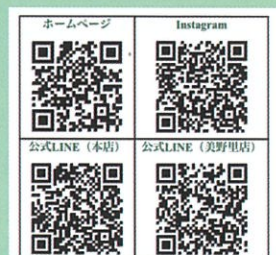
どうぞよろしくお願いいたします。

《店舗情報》

小川本店：小美玉市中延16-1

☎0299-58-3743

美野里支店：小美玉市江戸1-81
1F左



地区の魅力紹介



横町の歴史と歩み

横町区長 永作 明義

当町の歴史を伝える資料として、「横町覚書（※1）」があります。これは江戸時代中期の安永8年（1779年）から明治3年（1870年）までの91年間にわたり、素鷲神社祇園祭の様子を記録したものです。文字と絵を交えて記された資料で、現在も茨城県立歴史館による学術調査が続けられています。

横町覚書の記録は明治3年（1870年）で終わりますが、その後、明治20年（1887年）に新たな町内記録が始まりました。そこには、祇園祭をはじめとする町内の出来事に加え地域や社会の出来事も記され、現在まで約140年間にわたり書き継がれています。こうした記録からは、それぞれの時代を生きた人々の暮らしや地域の歩みをうかがい知ることができます。

文書資料だけでなく、歴史的な遺産もあります。その一つが、安土桃山時代の天正19年（1591年）に小川城主園部兼泰の守り本尊であった不動明王を勧請して創建された「川岸寺（せんがんじ）」（通称：お不動さん）です。建物は老朽化が著しいものの、今も地域の信仰の場となっています。不動明王の縁日である毎月28日には、当町の有志がお参りを続けています。

また、江戸時代に医業を営んだ朝倉家に伝わる「朝倉家の医学書及び薬草標本（※2）」は、当時の地域医療や薬学の実態を知ることができる貴重な資料とされ、小美玉市指定文化財となっています。

祇園祭に関しては、昭和11年（1936年）に制作された大獅子頭が残されています。これは、小川九町に残る大獅子頭の中で2番目に古いものと考えられています。

町内記録によると、当町の世帯数は100年ほど前には約50世帯ありましたが、現在は約20世帯となり、今後もさらなる減少が見込まれます。

人が少なくなる中で、先人たちが残してくれた歴史や伝統を次の世代へ受け継いでいくことの大切さと、その難しさを改めて感じています。

【追記】

本稿の執筆にあたり、小美玉市小川郷土文化研究会の藤井孝一理事（坂下町在住）から多くの御指導、御助言を賜りました。厚く御礼申し上げます。



横町覚書（安永8年～明治3年）

横町世話人が引き継いできた祭礼催し物の記録集。主な内容は横町の作り物だが、他町の作り物、祭礼風景、事件なども綴られている。

※1 小美玉市小川図書館・資料館所蔵

※2 茨城県立歴史館寄託

～編集後記～ ちょこっとボランティアを特集しました。ボランティアのことを考えてみたら、逆に身構えてしまって、何もできなくなりそうになりました。そんな時に、身近なちょこっとボランティアが見つかったのです。これなら、私にもできそうと、収集ボランティアに挑戦！あ、このコミュニティ活動も立派なボランティアですよ。ボランティアしていたわ、私達（笑）。